



氏名 田口 雅弘(たぐち まさひろ) 1956年生
所属 経済学部・経済学科・助教授
TEL 086-251-7568(ダイヤルイン)
FAX 086-251-7568
E-mail taguchi@cc.okayama-u.ac.jp
H P <http://www.e.okayama-u.ac.jp/~taguchi/index.htm>

ひとこと：現代ポーランドにおける経済発展の諸問題と政策思想、経済制度の分析ならびに移行期経済の実証分析を行っています。

ポーランド語・英語・日本語の政治・経済用語辞典の編纂も行っています。

1、ポーランド政治・経済の発展と現状の研究

ポーランドの第一次世界大戦以降(1918年以降)の政治、経済の発展、東西冷戦崩壊以降(1989年以降)の体制転換と体制移行の現状と問題点、最近のEUの東方拡大との関連について研究しています。

1918年以降を現代経済史として、両大戦間期経済では農地改革や通貨改革等を、第二次世界大戦以降の社会主義期では、「連帯」運動と経済改革や社会主義経済成長循環、体制内経済諸改革等を対象に研究しています。

また、1989年の社会主義経済体制から資本主義経済体制への体制変換以降を移行期として、同時期に体制変換が行われたハンガリーやチェコをはじめとした中東欧諸国との比較研究を行っています。



高度成長の下、建設ラッシュのワルシャワ

2. ポ・英・日政治・経済用語辞典の編纂

ポーランド語・英語・日本語の政治・経済用語辞典の編纂を進めています。この辞典は、ポーランド語の政治・経済を中心に、広く社会科学に関する専門用語・表現を収録したもので、近年のポーランドの経済市場化に伴う国際経済との関係緊密化や、グローバル化を考慮し、英訳も併記しています。



自由化の中で競争力を失い離農を迫られる農家

キーワード：ポーランド、移行期、EU東方拡大

キーワード用語集（田口雅弘先生）

ポーランド・・・1980年代初期の民主化運動や1989年の非共産党政権樹立など、国際社会に様々な刺激を与えてきた国。学問の各分野でも、オリジナルな研究が多い。2004年のEU加盟で、更なる飛躍を目指す。

移行期・・・ある政治・経済・社会システムが別のロジックで機能するシステムに転換するまでの過渡期を移行期という。具体的には社会主義から資本主義への移行、権威政体から民主政体への移行、伝統的経済から自由主義経済への移行などが研究対象となる。

EU東方拡大・・・2004年に旧社会主義諸国を中心とした10カ国がEUに加盟して、（ブルガリア、ルーマニアを残し）EU拡大が一段落したように思われたが、さらにトルコ、ウクライナなどからのアプローチが強まっており、EUの意義と役割があらためて大きな議論になっている。